



# みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

107号

2023 (令和5年)  
9月発行  
広報とみや



## 4年振りの智賀郡神社例大祭付け祭り



4年振りの開催となった付け祭りが7月29日(土)に行われ、多くの人で賑わいました。今年の付け祭りはこれまでの付け祭りとは変わったことがありました。

一つ目は、日光街道で屋台を引き回す午後4時から9時までを山王団地入口から済生会ケアセンターまでの区間が全面通行禁止となったことです。これにより、車を気にせずに引いたり、屋台を見たりできるようになりました。



二つ目は、屋台の運行スケジュールを早めたことです。1番の西根を例にみると屋台の神社繰り入れが、これまでの午後8時が午後6時に、神社繰り出しがこれまでの午後10時が午後7時半にと早くなりました。「早めたことで子どもの帰宅時間が早くなってよかった。」など、肯定的な声が聞かれました。



三つ目は今回のお囃子で、女性や六カ郷以外の自治会の方が加わって活躍する姿が多く見受けられたことです。自治会によっては高齢化、少子化等によりお囃子や屋台の引き回しの人材確保に苦労している自治会もあります。今後も伝統ある付け祭りを維持・継承していくためには、女性の活用や課題のある自治会への支援が必要ではないでしょうか。



付け祭りの催行にあたりましては6カ郷の皆様を始め地域の皆様、宇都宮中央警察署の皆様にご協力いただきありがとうございます。みや遺産に認定されている郷土の祭りを維持・継承していきたいと思っておりますので引き続きご協力・ご支援をお願いいたします。 実行委員長 入江 胖

### 篠笛作り

### 吹き手に合った笛を作りたいと30年

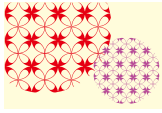


上町のお囃子会で篠笛を吹いていた私が篠笛を作り始めたのは、篠笛を教えてもらった先輩からかけられた「笛が作れないのは笛吹きではない。」という言葉がきっかけです。

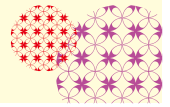
それから30年、笛を吹く一人一人に合った、いい音の出る笛を作ろうと素材の竹を採るところから最後の仕上げまで独学で試行錯誤しながら取り組んできました。

まずは、素材の竹の吟味が大切です。4、5年経った節の間隔や太さが笛に適している竹を選び採り、3年以上乾燥させます。それから内側を漆で塗り、音階に応じた箇所穴あけです。息を吹き込む歌口は息がしっかり入るように唇が歌口にぴったり当たるよう気を配ります。一本の笛を作り上げるには時間も労力もかかりますが、笛を使った人が「いい音が出ますね。」と声をかけてくださるのがうれしく、作る励みにもなっています。

(上町自治会 福田 正男)



## 上横倉町の雷電神社がお引越し！



地域の守り神である雷電神社は、雷電山の山頂にあり、上横倉町内一帯を見守り、毎年7月には外鯨宮司を先頭に神社に赴き、五穀豊穡、家内安全の祭礼を行っています。

しかし、近年、自治会会員の高齢化に伴い、祭礼に参加する人数が減少してきているため、参拝しやすいところに移してはどうかという声が上がっていました。そこで、自治会、宮司、氏子等関係者と協議し、参拝しやすい集会所近くの麓にご神体を遷宮することになりました。遷移するにあたっては、6月10日(土)に宮司により魂を抜く神事を行い、7月9日(日)に雷電神社・三日月神社・灯籠を遷移し、魂を入れる神事を行いました。自治会や関係者等約30名が参列し、五穀豊穡、家内安全を祈願しました。上横倉町獅子舞保存会による獅子舞の演舞も神社に奉納されました。



## 富屋に学ぶ子どもたち

○富屋小学校は創立150年を迎えました

校長 五十嵐市郎

明治6（1873）年上徳次郎の地に明德舎として産声を上げて以来、本校は今年で創立150年を迎えました。地域の皆様方に愛され、支えられての歩みでした。

5月25日、本校体育館で創立150年の記念式典を挙行了しました。当日は6年生児童が式典や記念事業の司会をしたり、児童代表喜びの言葉を語ってくれたり、功労者の皆様へ花束を贈呈したりと活躍してくれました。コ



ロナ禍の影響もあり入場者数を制限したり、時間の短縮を図ったりした式典でしたが、参加した児童、教職員、ご来賓の皆様の誰もが富屋小学校の150周年を心からお祝いしました。

式典の後は、とちぎ未来大使の倉沢大樹さんのエレクトーン演奏を楽しみました。途中には校歌をいろいろなアレンジで演奏し、それに合わせて大きな声で歌ったり、手拍子をしたりする時間もあり、記念事業にふさわしく笑顔あふれる思い出に残る有意義な時間を過ごしました。

## 伝法寺の釈迦如来及び両脇侍坐像が宇都宮市指定文化財に！

6月26日の教育委員会において伝法寺の釈迦如来及び両脇侍<sup>きょうじ</sup>の合わせて3体の仏像が宇都宮市指定文化財（有形文化財）に指定されました。おめでとうございます。指定された理由は次の通りです。

- 中央に位置する釈迦如来は高さ約87cm。穏やかな衣の表現や肩の張った体つき、猫背の姿勢などが鎌倉時代に活躍した院派<sup>いんぱ</sup>という流派<sup>ぶっし</sup>の仏師の仏像の特徴と一致している。
- 右脇侍<sup>うげんぼさつ</sup>の普賢菩薩と左脇侍<sup>もんじゅぼさつ</sup>の文殊菩薩は高さ約47cm。頭に着けた天冠台<sup>てんかんだい</sup>の装飾、髪束<sup>かみたば</sup>を天冠台に絡める表現、脚部の曲線が強い衣などに院派仏師の特徴が顕著に見て取れる。
- 仏師を特定することは困難であるが、市内に数少ない院派仏師による仏像として貴重である。



3体揃っての全体像



右脇侍 普賢菩薩 中尊 釈迦如来坐像 左脇侍 文殊菩薩



伝法寺住職 石井康方さんのお話

この度、宇都宮市指定文化財に指定いただき、伝法寺の釈迦三尊像が鎌倉時代から室町時代に活躍した流派の仏師により造られた貴重な文化財であることを広く知っていただき機会となりました。また、この貴重な文化財を後世まで残していくためにも、指定文化財として御支援いただけることをありがたく思います。

## ふるさと再発見 ⑧7

### 富屋小学校の起源「明德舎」



令和5年5月25日、富屋小学校は創立150周年を迎え、記念式典が行われました。本校は明治6年4月に、旧上徳次郎宿本陣跡に「明德舎」として、当時の河内郡内でもいち早く開校しました。明德舎の明德とは、中国の古書「大学」の中に出てくる言葉で、「大学の道は、明德を明らかにするに在り」によります。また舎とは学舎、学校を意味します。当時開校した近隣の学校は、和正舎、一新舎、西光舎など舎が多く用いられています。

明德舎は同年秋に旧中徳次郎宿本陣跡に移転し、明治20年に国の教育制度改正により徳次郎尋常小学校、上金井小学校となりました。したがって明德舎の校名は、開校から明治19年まで使われた名称です。その後明治22年に富屋村が成立すると、同23年に富屋尋常小学西校、富屋尋常小学東校となりました。明治37年5月25日、東西2校が合併し富屋尋常高等小学校となりました。2校が合併した日をもって、本校の創立記念日としています。(文化財調査員 池田貞夫)

## とみや地域学 『富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座』

富屋生涯学習センター主催の「富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座」が6月から7月にかけて全6回開催され、地区内外から26名が参加しました。宇都宮市文化財調査員の池田貞夫さん、富屋郷土史研究家の矢田部芳仁さんの2名が講師となり、写真をふんだんに使った画面を見ながら講義を聴いたり、現地に出向いて実際に見て確かめたりして、とても充実した講座でした。講座の内容は、「富屋小学校150年の歴史」、4年ぶりに開催した「智賀都神社例大祭付け祭り」「徳次郎六カ郷の屋台彫刻」など興味深い内容で、参加者からは、「実際に現地に行ってみたり触れたりすることで新しい発見があった。」「また次回も楽しみにしている。」などの感想が寄せられました。



## 「富屋地区球技大会」開催

7月2日(日)に、富屋地区球技大会が開催され、富屋地区市民センターを含めた8チームが参加しました。今年度はコロナ禍前の5種目であるボウリング・ソフトボール・グランドゴルフ・ソフトバレーボール・卓球を実施しました。

幅広い年齢層の方々が集い、笑い声や歓声が上がリ、和気あいあいと競技が進みました。結果は次のとおりです。

**総合優勝** 下町 ・ **準優勝** 東部 ・ **第3位** 中町



## 田んぼまわりの生き物調査2023

7月31日(月)に、富屋西部ホテル愛護会主催の「田んぼまわりの生き物調査」が行われ、富屋小学校の3年生から6年生の児童20名が参加しました。

富屋地区市民センターで行われた開会式の中で、アドバイザーの西部さんから生き物調査の方法や、調査時の注意事項を学んでからが、児童が楽しみにしていた生き物調査です。(田中・田んぼ及び水路上流)(田中・水路中下流)(西根水路)の3班に分かれて行いました。



夢中になって生き物を探し、どじょうやザリガニ、サワガニなど様々な生き物捕獲していました。

採取した生き物をセンターに持ち帰ってからは、生き物の名前や数を調べることを通して気付いた川や生き物の様子をしっかりと模造紙にまとめ発表していました。

ホテル愛護会員や富屋小教員、保護者のご協力により、充実し、学びの多い活動となりました。



### 富屋地区のデータ

(令和5年8月末現在)  
世帯数 1,652世帯  
総人口 3,418人  
男性 1,592人  
女性 1,826人

### 今後の主な事業計画

10月15日(日) 富屋の史跡・文化財巡り  
10月21日(土) ファイト!とみや2023  
11月5日(日) とみやふるさとまつり  
11月26日(日) そばまつり

### 編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会  
〒321-2116  
宇都宮市徳次郎町80番地2  
(富屋地区市民センター内)  
☎028-665-1663